

令和5年度

教育計画



石垣市立適応指導教室

「あやぱに学級」

所在地：石垣市字登野城153番地（登野城公民館2階）

TEL&FAX: (0980) 83-6388

E-mail : ayapani@ishigaki.ed.jp

も く じ

I 概要

1	沿革	1
2	趣旨	4
3	開級目的	4
4	入級対象	4
5	場所	4
6	担当職員	4
7	開級期間	4
8	指導・援助の特質	5
9	組織	5
10	運営方針	6
11	入級の手順と学校適応へのプロセス	7

II 適応指導教室「あやばに学級」の経営

1	学級経営目標	8
2	めざす子ども像	8
3	経営方針	8
4	家庭・原籍校・適応指導教室の役割と連携	8
5	日課表	9
6	主な活動内容（例）	10
7	教室環境	10
8	主な行事・年間活動計画	11
9	職員の構成	12
10	学級事務・事務分掌	12
11	「ことばの日」実施計画	13
12	学校生活に適応するまでの支援	14
13	年間計画	15

資料

- (資料1) 石垣市立適応指導教室設置要綱
- (資料2) 石垣市立適応指導教室入級及び
石垣市青少年センター通所検討委員会設置要綱
- (資料3) 暫定教育相談申請書（様式第1号）
 - 児童・生徒の概要（様式第2号）
 - 教育相談申請書（様式第3号）
 - 支援相談申請承諾書（様式第4号）
 - 支援通知決定書（様式第5号）
 - 支援終結通知書（様式第6号）

1 沿革

【平成5年度】

平成 6年2月 4日 石垣市立適応指導教室設置規則制定
 平成 6年2月28日 第1回適応指導教室運営協力委員会
 平成 6年3月 8日 第2回適応指導教室運営委員会
 平成 6年3月29日 第3回適応指導教室運営委員会
 「あやばに学級」と命名（命名者 石垣第二中 新田健夫 教諭）

【平成6年度】

平成 6年4月 1日 石垣市立適応指導教室「あやばに学級」開設
 適応指導教室特別研究員 慶田盛邦子教諭 発令
 適応指導教室指導員 内原勇 崎山光子

【平成7年度】

平成 7年4月 1日 適応指導教室特別研究員 慶田盛邦子教諭 継続
 適応指導教室指導員 内原勇 崎山光子

【平成8年度】

平成 8年4月 1日 適応指導教室特別研究員 慶田盛邦子教諭 継続
 適応指導教室指導員 前津栄信 崎山光子

【平成9年度】

平成 9年4月 1日 適応指導教室特別研究員 大田綾子教諭 発令
 適応指導教室指導員 前津栄信 崎山光子

【平成10年度】

平成10年4月 1日 適応指導教室特別研究員 大田綾子教諭 継続
 適応指導教室指導員 宮良祐成 島袋亮子
 平成11年2月23日 適応指導教室「あやばに学級」実践報告会

【平成11年度】

平成11年4月 1日 適応指導教室特別研究員 安次嶺絹枝教諭 発令
 適応指導教室指導員 島袋亮子 黒川庶
 平成11年9月 1日 適応指導教室指導員 大仲國夫 瀬名波玲子
 平成12年2月23日 適応指導教室「あやばに学級」実践報告会

【平成12年度】

平成12年4月 1日 適応指導教室特別研究員 加勢本京子教諭 発令
 適応指導教室指導員 大仲國夫 加原玲子
 平成13年3月 6日 適応指導教室「あやばに学級」実践報告会

【平成13年度】

平成13年4月 1日 適応指導教室特別研究員 宇根悦子教諭 発令
 適応指導教室指導員 本仲勉 加原玲子
 平成14年2月22日 適応指導教室「あやばに学級」実践報告会

【平成14年度】

平成14年4月 1日 適応指導教室特別研究員 宇根悦子教諭 継続
 適応指導教室指導員 本仲勉 盛山明香
 平成15年2月19日 適応指導教室「あやばに学級」実践報告会

【平成15年度】

平成15年4月 1日 適応指導教室特別研究員 西銘初江教諭 発令
 適応指導教室指導員 玻座真武 盛山明香
 平成16年2月18日 適応指導教室「あやばに学級」実践報告会

【平成16年度】

平成16年4月 1日 適応指導教室特別研究員 西銘初江教諭 継続
 適応指導教室指導員 砂川忠寛 與那國貴子
 平成17年2月23日 適応指導教室「あやばに学級」実践報告会

【平成17年度】

平成17年4月 1日 適応指導教室特別研究員 西銘初江教諭 継続
 適応指導教室指導員 屋良律子 新崎尚武
 平成18年2月22日 適応指導教室「あやばに学級」実践報告会

【平成18年度】

平成18年4月 1日 適応指導教室特別研究員 徳山明美教諭 発令
適応指導教室指導員 屋良律子 米城奏
平成19年2月27日 適応指導教室「あやばに学級」実践報告会

【平成19年度】

平成19年4月 1日 適応指導教室特別研究員 徳山明美教諭 継続
適応指導教室指導員 屋良律子 梶原慎太郎
平成20年2月27日 適応指導教室「あやばに学級」実践報告会及び講演会
講師 上級カウンセラー 新里恒彦

【平成20年度】

平成20年4月 1日 適応指導教室特別研究員 平安山誠教諭 発令
適応指導教室指導員 屋良 律子 梶原慎太郎
平成21年2月27日 適応指導教室「あやばに学級」実践報告会及び講演会
【講演】不登校等問題を抱える児童生徒を如何に立ち直らせるか
講師 岸田カウンセリング研究所 所長 岸田博

【平成21年度】

平成21年5月22日 適応指導教室特別研究員 平安山誠教諭 継続
適応指導教室指導員 屋良律子 梶原慎太郎
平成22年2月25日 適応指導教室「あやばに学級」実践報告会及び講演会
【講演】「子どもと大人のためのストレスマネジメント」
講師 関西福祉科学大学 教授 大野太郎

【平成22年度】

平成22年4月 1日 適応指導教室特別研究員 保里京子教諭 発令
適応指導教室指導員 屋良律子 崎田尚孝
平成23年2月25日 適応指導教室「あやばに学級」実践報告会

【平成23年度】

平成23年4月 1日 石垣市立教育研究所所長 新城寅生 発令
適応指導教室特別研究員 保里京子教諭 継続
適応指導教室指導員 大盛陽一郎 宮良郁恵
平成24年2月16日 適応指導教室「あやばに学級」実践報告会

【平成24年度】

平成24年4月 1日 石垣市立教育研究所所長 新城寅生 継続
適応指導教室特別研究員 新本真理子教諭 発令
適応指導教室指導員 宮城ひとみ 新崎拳
平成25年2月16日 適応指導教室「あやばに学級」実践報告会

【平成25年度】

平成25年4月 1日 石垣市立教育研究所所長 田本由美子 発令
適応指導教室特別研究員 兼松良明教諭 発令
適応指導教室指導員 前花雄介 竹内梢
平成26年2月25日 適応指導教室「あやばに学級」実践報告会

【平成26年度】

平成26年4月 1日 石垣市立教育研究所所長 田本由美子 継続
適応指導教室特別研究員 大城亜美教諭 発令
適応指導教室指導員 前花雄介 竹内梢
平成27年2月10日 適応指導教室「あやばに学級」実践報告会

【平成27年度】

平成27年4月 1日 石垣市立教育研究所所長 宜野座安夫 発令
適応指導教室特別研究員 上原邦夫教諭 発令
適応指導教室指導員 保里京子 西里洋樹
平成28年2月18日 適応指導教室「あやばに学級」実践報告会

【平成28年度】

平成28年4月 1日 石垣市立教育研究所所長 宜野座安夫（委嘱） 発令
適応指導教室特別研究員 與那國充子 発令
適応指導教室指導員 寄合洋且 池田碧
平成29年2月16日 適応指導教室「あやばに学級」実践報告会並びに適応指導関係者報告会
（担任）照屋寛文（小中アシスト相談員）田福雄市（教育相談）前底さゆり

【平成29年度】

平成29年4月 1日	石垣市立教育研究所所長	仲田森和（委嘱）	発令
	適応指導教室特別研究員	小野寺紀子	発令
	適応指導教室指導員	寄合洋且 松井真里子	
7月11日	石垣市立教育研究所所長	仲田森和	退職
8月 1日	石垣市立教育研究所所長	南 和秀（委嘱）	発令
平成30年2月20日	適応指導教室「あやばに学級」実践報告会 関係機関報告：（青少年センター係長）石垣司・ （小中アシスト相談員）與那國貴子		

【平成30年度】

平成30年4月 1日	石垣市立教育研究所所長	南 和秀（委嘱）	発令
	適応指導教室特別研究員	平田 律子	発令
	適応指導教室指導員	寄合洋且	
8月31日	適応指導教室指導員	寄合洋且	退職
9月 1日	適応指導教室指導員	平良未衣菜	
10月22日	適応指導教室指導員	東嘉弥真美久	
平成31年2月19日	適応指導教室「あやばに学級」実践報告会 関係機関報告：（青少年センター係長）石垣司・ （臨床心理士）與那城杉子		

【平成31年度（令和元年度）】

平成31年4月 1日	石垣市立教育研究所所長	大濱 民江	発令
	適応指導教室特別研究員	大城 朝義	発令
	適応指導教室指導員	平良未衣菜 東嘉弥真美久	
令和 2年2月18日	適応指導教室「あやばに学級」実践報告会 関係機関報告：（八重山警察署）大石根司 （臨床心理士）與那城杉子		

【令和2年度】

令和 2年4月 1日	石垣市立教育研究所所長	大濱 民江	発令
	適応指導教室特別研究員	宮城 貴美	発令
	適応指導教室指導員	平良未衣菜 太田 裕也	
10月12日	サポートスタッフ	当銘 清美	
令和 3年2月22日	適応指導教室「あやばに学級」実践報告会		

【令和3年度】

令和 3年4月 1日	石垣市立教育研究所所長	大濱 民江	発令
	適応指導教室特別研究員	神山 綾香	発令
	適応指導教室指導員	上原まどか 東嘉弥真美久	
令和 4年2月21日	適応指導教室「あやばに学級」実践報告会		

【令和4年度】

令和 4年 4月1日	石垣市立教育研究所所長	西原 貴和子	発令
	適応指導教室特別研究員	浅井 みさ乃	発令
	適応指導教室指導員	上原 まどか 富永 由衣	
令和 5年 3月16日	適応指導教室「あやばに学級」実践報告会		

【令和5年度】

令和 5年 4月 1日	石垣市立教育研究所所長	西原貴和子	発令
	適応指導教室特別研究員	金城 綾乃	発令
	適応指導教室指導員	東大嶺由衣 儀間 奈央	

2 趣 旨

石垣市の不登校児童生徒数は毎年増加傾向にあり、不登校児童生徒の学校適応を促進するため、適応指導教室「あやぱに学級」を開設する。

3 開級目的

不登校の児童生徒に対し、自立の心を高め、社会性を身につけさせるための指導援助を行うことで学校適応を図ることを目的とする。

4 入級対象

石垣市内の小中学校で不安など情緒的混乱による不登校児童生徒とし、具体的には次に示す状態がいくつか見られる者とする。

- (1) 学校復帰を目指し「あやぱに学級」に通う意思を持っている。
- (2) 学校刺激・登校刺激に対して過敏・拒否反応がある。
- (3) 自分の意思を表現するのが極めて乏しく、生活全般において無気力さや消極さが見られる。
- (4) 精神的な疾患がなく、専門家の治療や支援を必要とせず、怠学傾向がない。

5 場 所

〒907-0004 石垣市字登野城153番地（登野城公民館2階）

電話(0980) 83-6388(FAX 兼用) E-mail: ayapani@ishigaki.ed.jp

HP <http://ishigaki.ed.jp/ayapani/>

6 担当職員

○学級担任: 金城 綾乃(指導教諭)

○指導員: 東大嶺 由衣・儀間 奈央

7 開級期間

石垣市立小・中学校の授業日に準ずるが、学年始めは3週間程度の学校適応期間をおく。

8 指導・援助の特質

居場所づくり	○ありのままに受容することと、共感することにより信頼関係を築く。 ○安心して過ごせる場とする。
基本的生活習慣の確立	○保護者と連携し、基本的な生活（家族との食事等）の習慣化を促し、学校復帰に向けた生活リズムを確立する。 ○運動、体力、栄養、睡眠等に気をつけ、健康的な心身を育む活動を行う場とする。
自然体験活動	○豊かな自然環境の中で心を開放する心地よさを味わわせる。 ○人とのふれあいを広げる場とする。 ○たくましさやチャレンジ精神を養う場とする。
学習活動	○個に応じた学習を進める場とする。 ○自主的、自発的な学習意欲を尊重する場とする。
生活空間の広がり	○社会見学や施設めぐり等の級外活動で、教室内では得がたい貴重な体験を通し社会性を育む場とする。
人とのかかわり	○様々な活動を通して、仲間意識や集団適応能力を高める場とする。 ○関係機関との協力と連携により、様々な人との出会いの場を提供する。

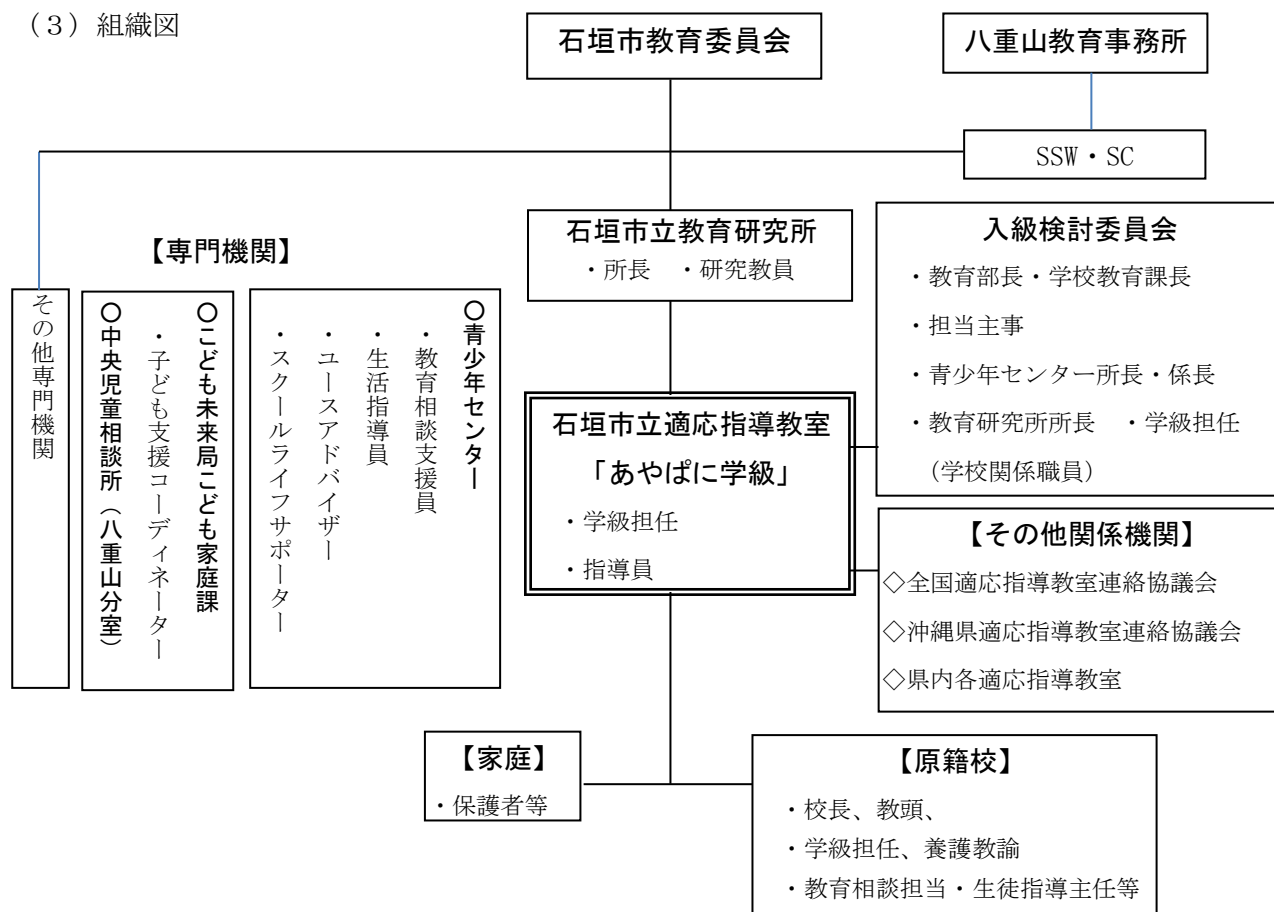
9 組織

(1) 石垣市教育委員会、石垣市立教育研究所が主管となって本事業を推進する。

(2) 適応指導教室への入級は石垣市教育委員会内に「石垣市立適応指導教室入級及び青少年センター一通所等検討委員会」を組織し、適応指導教室への入級等について調査審議し、決定する。

その検討委員会は、教育部長、学校教育課長、いきいき学び課青少年センター所長、石垣市立教育研究所所長、青少年センター青少年係長及び学校教育課担当指導主事、学級担任の職にあるものがあたる。

(3) 組織図



10 運営方針

(1) 担当教諭と指導員との協働

- ① 適宜話し合いを持ち、共通理解を図る。
- ② 学校教育課（担当指導主事）及び教育研究所（所長）と所内研修等で共通理解を図る。

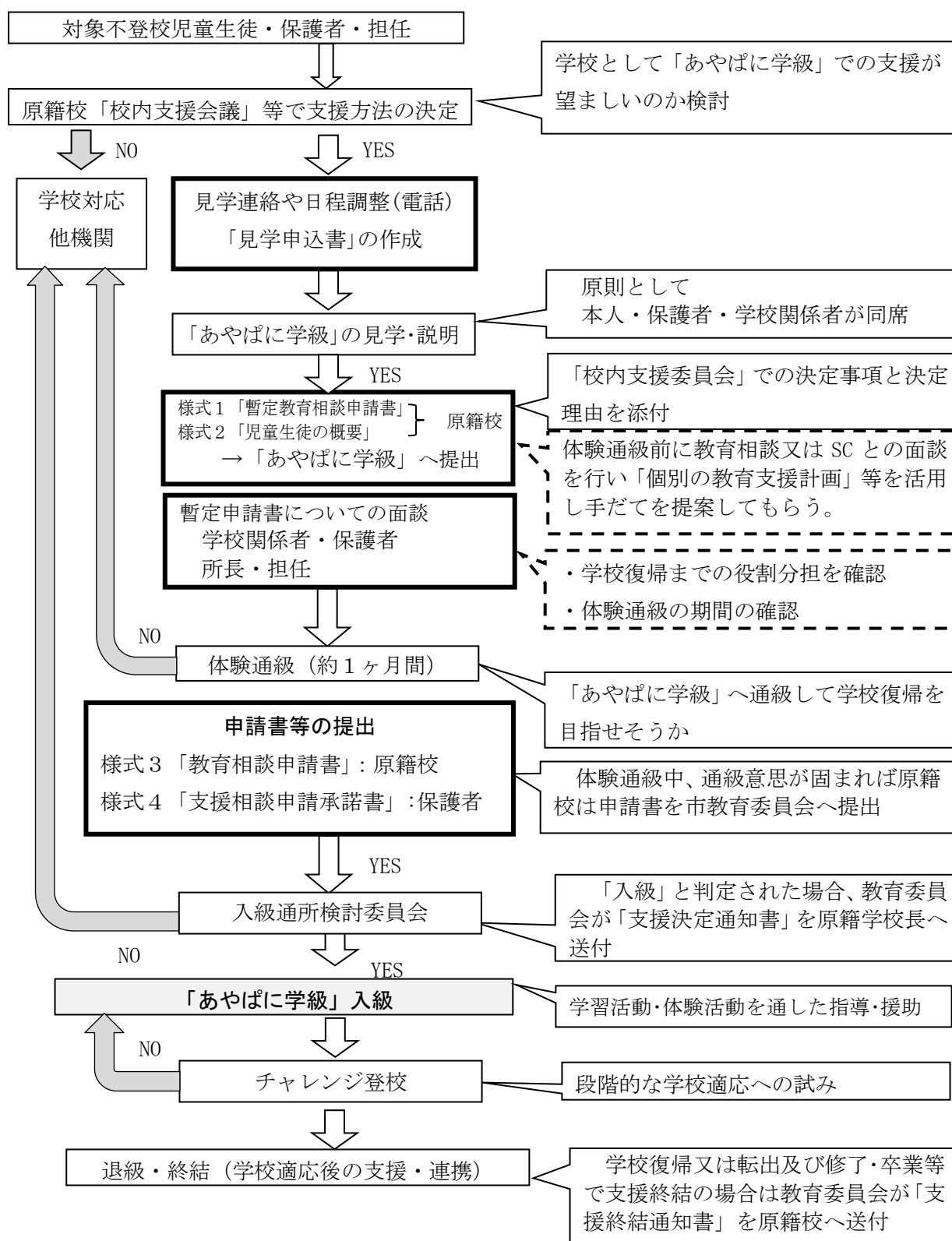
(2) 学校との連携指導

- ① 学校訪問による学校長・教育相談担当・生徒指導主任・学級担任等との懇談会を実施し、学校の不登校児童生徒の実態把握に努める。
- ② 原籍校の校内支援会議に参加し（学期1回程度）、情報交換及び適応指導についての共通理解に努める。
- ③ 原籍校学級担任や教育相談担当・生徒指導主任等の来級による、児童生徒との関係づくりに努める。
- ④ 毎月初めに原籍校へ出席状況や学級での様子を報告し、児童生徒の状況と支援方法について共通理解を深める。

(3) 家庭との連携指導

- ① 随時連携をとり、児童生徒の支援が円滑にできるように努める。
- ② 必要に応じて保護者会を持ち、理解と協力を得る。
- ③ 関係機関へ教育相談や研修会への参加を呼びかける。
- ④ 学級通信や電話連絡等により保護者との望ましい人間関係づくりに努める。
- ⑤ 児童生徒の実態に応じて、親子で触れ合える機会を設定する。

11 入級の手順と学校適応へのプロセス



※申請書類は、「あやばに学級」ホームページもしくは、
P22【資料3】のQRコードからダウンロード可能です。

Ⅱ 適応指導教室「あやばに学級」の経営

1 学級経営目標

- (1) 心理的要因によって不登校や登校しぶりの児童生徒に対して、心身共に安心して居場所を提供する。
- (2) さまざまな活動を通して、自立心と社会性を高め、集団への適応力を育てる。

2 めざす子ども像

- (1) 自分の気持ちを表現できる子・・・自分で考え、気持ちを伝えよう
- (2) 自分で決めて行動できる子・・・目標を決めて挑戦しよう
- (3) 思いやりのある子・・・思いやりと感謝の気持ちをもとう
- (4) 明るく元気な子・・・生活リズムを整え明るく元気に活動しよう

3 経営方針

- (1) 個々の児童生徒に対して教育相談、学習指導、集団生活への適応指導等、柔軟な対応をし、めざす子ども像の具現化に努める。
- (2) 多様な体験活動や遊び等を通して生活体験を広げ、人と関わる力の育成に努める。
- (3) 児童生徒個々の指導・援助の在り方について、原籍校関係職員や「あやばに学級」担任・指導員との共通理解を図り、一貫性のある指導・援助を行う。
- (4) 日常生活全般における児童生徒の実態や指導・援助の記録をとり、次の支援の手がかりにする。
- (5) 学校・家庭・各関係機関等と連携を密にし、協力しながら児童生徒の学校復帰と将来の社会的自立に向けた支援体制を整え個々に応じた指導・援助を行う。
- (6) 児童生徒の指導・援助にあたっては、次のような記録簿を作成し、報告する。
 - ◇ 原籍校への出席状況報告書（毎月1回）
 - ◇ 支援日誌
- (7) 児童生徒理解の促進、変容に応じた指導・援助に活用する。
 - ◇ 生活日誌 ◇ 面談シート ◇ プロフィール
 - ◇ 個別の教育支援計画 ◇ 経過観察フォーム
- (8) 原籍校の一員であるという所属感をもたせるため、原籍校の学級担任や教育相談担当等による支援をお願いする。
- (9) 個々の児童生徒の実態把握を行い、適切な支援方法を検討する機会をもつ。
 - ◇ 学校における支援会議やケース会議への参加
 - ◇ 専門家、福祉等関係機関との情報交換・連携
 - ◇ 沖適連や他適応指導教室との情報交換・連携

4 家庭・原籍校・適応指導教室の役割と連携

- (1) 家庭の役割
 - ① 基本的な生活習慣の確立
 - ② 学級及び「あやばに学級」との連携・協力
 - ③ 来級相談
 - ④ 三者面談、保護者会等への参加
 - ⑤ 登校支援
 - ⑥ 各行事への参加 など
- (2) 原籍校の役割

① 不登校対応担当者を明確にし「あやばに学級」と連携協力する窓口の設定 ② 原籍校担任による家庭学習の取組 ③ あやばに学級への訪問 ④ 評価・学校行事等に関する連絡・調整 ⑤ 原籍校へチャレンジ登校する際の受け入れ体制の整備 ⑥ 支援終了後の校内での居場所の確保・配慮など	
保護者との連携	適応指導教室との連携

① 保護者との連携・三者面談 ② 学校からのおたより等の配布 ③ 徴収金(学年費・教材費・給食費)の調整 ④ 保健関係の諸調査の連絡・調整	① 学習教材及び課題プリントの提供 ② 校内支援会議への参加呼びかけ ③ 「あやばに学級」への訪問 ④ 定期テストや提出物等、評価に関する連絡・調整 ⑤ 進路指導及び高校入試に関する資料の提供・諸手続き
--	---

(3) 「あやばに学級」の役割

- ① 保護者及び原籍校の関係職員との連携
- ② 保護者及び本人との面談（実態把握）
- ③ 原籍校学級担任等との面談（実態把握）
- ④ 不登校に至った児童生徒の経緯把握及びその理解
- ⑤ 入級児童生徒への段階的な指導・援助
- ⑥ 原籍校主催の会議等への参加
- ⑦ 毎月の出席状況報告及び支援日誌作成
- ⑧ 教育相談、来級相談への対応 など

◎保護者、原籍校、あやばに学級三者の連携を密にした、「個別の支援計画」の作成を継続し、指導援助の方向を共通理解の上、一貫した支援を進めていく。

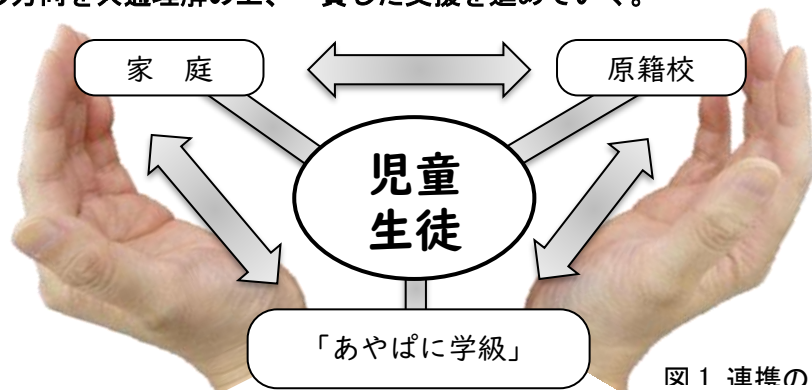


図1 連携のイメージ

5 日課表

日課表はあくまでも目安として活用し、月行事や週予定に応じて柔軟に対応する。

【原則として】

- 月曜日 スポーツ・体験活動
- 水曜日 調理実習
- 金曜日 栽培飼育活動

登級人数や児童生徒の個々の状況に応じて対応していくものとする。

日課表に合わせてチャイムを流し、時間のけじめや気持ちの切り替えができるようにする。



図2 利用したアプリ「学校チャイム」

表1 日課表の例
令和5年度 日課表

		「あやばに学級」				
時間 (分)	曜 時間	月	火	水	木	金
30	8:30～ 9:00	登 級（日誌記入）				
10	9:00～ 9:10	朝の活動				
5		休憩・準備				
45	9:15～ 10:00	学習活動①				
10		休憩・準備				
45	10:10～ 10:55	学習活動②				
10		休憩・準備				
45	11:05～ 11:50	スポーツ 体験活動	学習③	調理実習 昼食	学習③	栽培活動
10		休憩・準備			休憩・準備	
30	12:00～ 12:30	昼食			昼食	
15	12:30～ 12:45	清掃				
30	12:45～ 13:15	準備・昼休み				
45	13:15～ 14:00	学習活動④				
5		休憩・準備				
45	14:05～ 14:50	学習活動⑤				
10	14:50～ 15:00	退 級（日誌記入）				

6 主な活動（例）

活動	ねらい	具体的活動内容（例）
学習	・学習の機会を保障し、原籍校での評価につなげる。 ・基礎的・基本的事項の定着を図る。 ・原籍校からの課題学習に取り組むことで、学校への所属意識を感じさせ学習意欲につなげる。 ・原籍校の先生に出前授業をしてもらい、学校復帰への気持ちを育む。 ・先輩や卒業生、学級外の方に教えてもらうことによって、大切にされていることを感じさせる。	・学校の課題・テスト等 ・自学自習 ・原籍校教師による出前授業 ・学級外の方による学習支援 ・夏休み・冬休み勉強会 ・市立図書館の活用 ・PCを使った学習
生活体験	・調理実習を通して級友と一緒に協力し、つながりと協働する喜びを感じさせる。 ・調理実習を通して食生活を見直し、望ましい食習慣の在り方を学ぶ。 ・清掃、炊事、団らんを通して家庭での生活を見直す。	・メニュー決め ・役割分担 ・買い物 ・調理実習・会食、片づけ
栽培飼育体験	・自分たちで植えた野菜や花の成長を実感し、灌水や手入れ等をする中で開花や結実の喜びを味わい、収穫した作物を食することで命の大切さを感じる。 ・教室内の観葉植物や小動物を育てることを通して、心を癒すとともに命の大切さに気付かせる。 ・級友と栽培活動を行うことで交流が深まり、協働する楽しさ、助け合いの心情や態度を育てる。	・菜園活動 種まき→育苗→苗植え→灌水→ 暴風・害虫対策→収穫調理 ・観葉植物への水やり ・生き物の世話 ・青少年の家主催の事業 イモ植え→手入れ→収穫→調理
制作体験	・自分の想像やアイデアを形にすることによって、自己を表現し、それを互いに認め合うことで自己肯定感を高める機会とする。 ・美術や技術／家庭科の課題を制作することで、学校への所属感を得、登校に対する抵抗感を軽くする。 ・仲間とともに制作することを通して、協働する喜びを味わわせる。	・掲示物制作 ・手工芸体験 ・美術や家庭科の課題制作 ・絵はがき教室 ・黒板アート
自然体験	・自然に親しみ、遊びを通して仲間との交流を深めることで自主性や連帯感を深める。 ・身近にある自然に触れゆったりとした時間を過ごす中で、心の癒しと解放につなげる。 ・自然を大切にしようとする意識をもたせる。	・カヌー体験 ・登山教室 ・遠足 ・秋見つけ
社会体験	・いろいろな職業がある事を知り、人々とのふれあいを通して視野を広げ、社会性を広げる。 ・他人のために役立つ自分を知り、自己有用感を育む。 ・言葉遣いやあいさつ等、人との接し方について学ばせる。	・職場体験（保育園等） ・給食センター見学 ・進路学習 ・ことばの日
歴史文	・地域の文化財や施設を見学することで、郷土の歴史や文化に興味をもたせる。 ・平和について学ぶことで、命の尊さを知り平和であることがどれだけ幸せであるかを感じ、学ぶことができる。	・八重山平和祈念館見学 ・遠足 ・史跡見学 ・展覧会や劇等の観賞
スポーツ	・学級の仲間や職員との触れ合いを通して、交友関係を深め心身の健全な発達を図る。 ・自分のペースで体力づくりを行うことができる。 ・自分の目標達成に向けて、継続して練習することができる。	・卓球、ウォーキング ・なわとび ・ボール遊び ・グラウンドゴルフ等【級外】
宿泊体験	・大自然の中で過ごすことで心の解放を図る。 ・住み慣れている環境から離れ、学級の仲間たちと寝食を共にすることで、互いのよさに気付き認め合う。 ・集団生活を通して基本的な生活習慣を整え自立心を養う。 ・役割分担など諸活動を通して、責任感を培うと共に自己有用感を得る。 ・集団での規律の大切さを学ぶ。	【宿泊場所例】 ・沖縄県立石垣青少年の家 ・竹富町立交流センター 【活動例】 ・野外炊飯 ・自然散策

7 教室環境（P11 図2 教室配置図参照）

(1) 方針

- ① 一斉指導や個別学習など、諸活動に対応できるように机を配置する。
- ② 児童生徒の作品を掲示し自己肯定感を育む。
- ③ 植物を置きリラックスできる雰囲気を作る。
- ④ 畳スペースを設け、ゆっくりくつろげる場とする。
- ⑤ 水槽を配置し、小動物を育てることで癒しの空間を作る。
- ⑥ 個人のロッカーやプリント棚を設ける。
- ⑦ 静かな音楽を流し、気持ちを落ち着かせリラックスできる環境を作る。

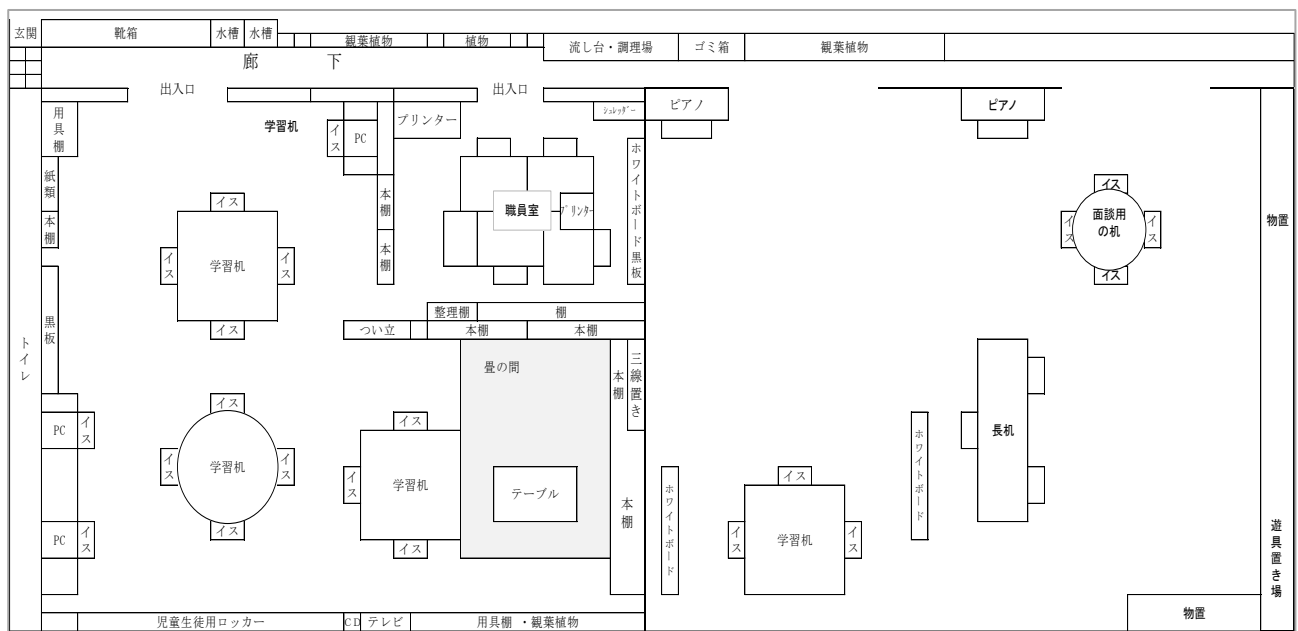


図2 教室配置図

8 主な行事・年間活動計画（例）

月	行 事	活 動	
		級内活動	級外活動
4	1学期始業式・入学式 学校訪問 チャレンジ登校期間 体験通級受け入れ開始	教室の環境整備	学級園・花壇の整備
5	定期テスト：中		自：春の遠足
6	中体連夏季大会 「あやばに学級」通級激励会 定期テスト：中	制作：掲示物 文：平和学習	自：イモ植え体験 文：平和学習 ス：スポーツ交流会
7	学校テスト：小 「あやばに学級」三者面談 「あやばに学級」1学期終業式 1学期終業式 (三中生徒指導部会参加)	制作：暑中見舞い	
8	夏休み開級実施 実力テスト：中		
9	2学期始業式		お外 de ランチ 自：カヌー体験
10	中体連駅伝大会	ハロウィンパーティー	自：ジャガイモ植え体験
11	地区中文祭 定期テスト：中		社：高校見学 自：秋の遠足
12	学校テスト：小 「あやばに学級」三者面談 「あやばに学級」2学期終業式 2学期終業式 (三中生徒指導部会参加)	クリスマスお楽しみ会 制作：年賀状	
1	3学期始業式		自：イモ掘り体験
2	定期テスト：中		
3	「あやばに学級」実践報告会「あやばに学級」閉級式 県立高校入試 チャレンジ登校期間 卒業式・修了式 (三中生徒指導部会参加)		

自：自然体験

社：社会体験

ス：スポーツ体験

文：歴史文化体

9 職員の構成

○石垣市教育委員会	学校教育課長	:	上原 太郎
○石垣市教育委員会	担当指導主事	:	荷川取 健
○石垣市教育委員会	事務主査	:	喜久本 利恵
◎石垣市立教育研究所	所長	:	西原 貴和子
◎石垣市立適応指導教室	学級担任（指導教諭）	:	金城 綾乃
◎石垣市立適応指導教室	指導員	:	東大嶺 由衣、儀間 奈央

10 学級事務・事務分掌

（1）課長（石教委学校教育課）・・・ 上原 太郎

- ①適応指導教室の統括、適応指導教室経営・運営に関する事
- ②職員の人事に関する事。
- ③他機関との渉外に関する事。
- ④入級検討委員会に関する事。
- ⑤実践報告会に関する事。
- ⑥通級激励会・閉級式に関する事。

（2）所長・・・ 西原 貴和子

- ①適応指導教室の統括、適応指導教室経営・運営に関する事。
- ②職員の人事に関する事。
- ③他機関との渉外に関する事。
- ④入級検討委員会に関する事。
- ⑤実践報告会に関する事。
- ⑥通級激励会・閉級式に関する事。
- ⑦公文書収受発送に関する事。

（3）担当指導主事（県派遣指導主事）・・・ 荷川取 健

- ①適応指導教室の経営・運営に係る指導助言に関する事。
- ②適応指導教室連絡協議会に関する事。（沖適連・全適連）
- ③入級検討委員会に関する事。
- ④実践報告会に関する事。
- ⑤通級激励会・閉級式に関する事。
- ⑥公文書収受発送に関する事。
- ⑦入級・終結通知書の作成に関する事。

（4）指導主事（石教委学校教育課）・・・ 係長 仲盛 賢也 担当指導主事 荷川取 健

- 適応指導教室の指導助言に関する事。

（5）事務主査（石教委学校教育課）・・・ 喜久本 利恵

- 適応指導教室の予算の執行・決算に関する事。

（6）適応指導教室指導教諭・・・ 金城 綾乃

- ①適応指導教室の連携機関との渉外・企画運営に関する事。
- ②学級業務日誌に関する事。
- ③適応指導教室の学級経営計画・諸行事の企画立案に関する事。
- ④適応指導教室の学級経営・諸行事の運営に関する事。
- ⑤適応指導教室の指導・援助活動に関する事。
- ⑥学校適応促進のための家庭・学校及び学級担任との連携に関する事。
- ⑦学校訪問の企画立案及び原籍校連絡会議の運営に関する事。
- ⑧適応指導教室実践報告書の刊行及び報告会に関する事。

- ⑨通級激励会・閉級式の企画立案に関すること。
- ⑩学校及び家庭訪問相談に関すること。
- ⑪教育相談(電話相談・来所相談・面談等)に関すること。
- ⑫適応指導員への指導助言に関すること。^{1, 2}
- ⑬適応指導教室の通級児童生徒情報管理に関すること。
- ⑭不登校児童生徒の効果的な指導・支援における研究に関すること。
- ⑮県内適応指導教室担当者会への出席・連携に関すること。
- ⑯適応指導教室の予算・購入伺いに関すること。
- ⑰次年度計画等、資料作成及び事務資料等の準備・引き継ぎに関すること。

(7) 適応指導教室指導員 ・ ・ ・ **東大嶺 由衣・儀間 奈央**

- ①適応指導教室担当教諭の補佐業務に関すること。
- ②適応指導教室の学級運営、諸行事の運営に関すること。
- ③適応指導教室の指導・援助活動に関すること。
- ④学校適応促進のための家庭・学校及び学級担任との連携に関すること。
- ⑤学校へのチャレンジ登校支援、「あやばに学級」への通級支援に関すること。
- ⑥原籍校連絡会議の運営補助に関すること。
- ⑦適応指導教室実践報告書の刊行準備及び報告会の運営に関すること。
- ⑧通級激励会・閉級式の企画立案補助に関すること。
- ⑨教育相談(電話相談・来所相談・面談等)に関すること。
- ⑩出席状況報告書作成、記入、管理、報告。
- ⑪支援日誌(個人援助指導記録簿)日誌の作成、記入、管理。
- ⑫児童生徒用生活日誌作成、記入、管理。
- ⑬諸行事の記録及び反省まとめ。
- ⑭学級の教室整備及び掲示物に関すること。
- ⑮ホームページの更新に関すること。
- ⑯学級の事務資料等の整理・引き継ぎに関すること。

- 14 -

11 「ことばの日」について

(1) ねらい

- ①自分の言葉遣いを振り返り、よりきれいな言葉、より気持ちのいい言葉を意識して遣い、学級内の雰囲気をよくし、社会性を培う。
- ②言葉が心に及ぼす影響を感じることによって、言葉の力を知り、日頃から良い言葉を遣おうという意識を培う。
- ③自分自身について振り返ったり、周りの人について考えたりする機会とする。

(2) 方針

- ①「ことば」の「ば」＝「8」から、毎月8日、あるいは8日前後の日を「ことばの日」と設定する。
- ②「ことばの日」には「ことばの日」の表示をする。
- ③通級児童生徒に「ねらい」の説明をする。説明の仕方は、全体や個人など、児童生徒の状態に合わせて行う。
- ④実施内容は通級児童生徒、時期を考慮し流動的に行うものとする。

(3) 年間計画案と実施例

1	5 / ()	新しい先生との出会いや目標について書こう	6	11 / ()	ありがとうを伝えよう
2	6 / ()	平和(幸せ)について	7	12 / ()	1年を振り返ろう
3	7 / ()	通級激励会決意を書こう	8	1 / ()	今年の一字(決意)
4	9 / ()	自分のことを伝えよう	9	2 / ()	閉級式の決意の言葉
5	10 / ()	友達の良さを見つけよう			

12 学校生活に適応するまでの支援

H28 與那國充子教諭作

